自己評価

5.具体的に実施できており、大変良い
4.具体的に実施できており、良い（更に良くできる）
3.おおむね達成できている
2.実施しているが、成果が出ていない（検討を要する）
1.実施できていない（改善を要する）

保育理念・保育観	1	職員一人ひとりが、保育理念・保育方針に基づき「まことの保育」に取り組んでいます。	4.2
	2	保育士一人ひとりが、保育を振り返り、その問題解決のために向上心をもって取り組んでいます。	4.4
	3	すべての子どもについて、一人ひとりの存在を喜び、その人権を尊重しています。	4.6
	4	児童福祉法の理念に基づいて子どもの生活と健全な発達を保障することが保育園の重要な使命であると理解しています。	4.5
	5	入園している子どもの保育だけでなく、広く地域の子育てを支援する社会的役割があることを意識し、目指しています。	4.1
	6	一人一人のありのままの姿を受けとめ、健康・情操を育み、教育のお世話をしています。	4.4
	7	保育園の保育が子どもの生涯の基礎を培う極めて大きな役割を担っていると認識しています。	4.5
	8	保護者・保育者と連携を密に取り、その意向を受けとめ、保育士等の専門性を生かしてその援助にあたっています。	4.6

保育計画・指導計画	1	保育指針のねらい及び内容が達成できるような全体的な計画や保育計画になっています。	4.4
	2	保育計画に基づき、子ども一人ひとりの発達の姿や興味・関心の対象や生活の実態を把握して、月・週・日案などを作成しています。	4.6
	3	子どもの興味・関心が触発され、自ら関わり、発達に必要な経験が得られるような環境構成が十分に工夫されています。	4.2
	4	一人ひとりの発達過程や状況を職員間で十分に話し合い、理解したうえで保育をしています。	4.4
	5	月・週・日案などが実際の子どもの姿、興味・関心に合っていたかという点から自分の保育を評価、反省をしています。	4.4
	6	食について保育士と給食従事者が意見交換の場をもち、連携して食育活動をしています。	4.3
	7	献立に旬の食材や子どもたち自身が育てた野菜を調理に取り入れて、食への関心が高められる食事を作っています。	4.2

職員構成・役割分担・研修	1	職員それぞれ全体的立場を理解し、協力や助言をし、施設の運営に関わっています。	4.3
	2	子どものことやクラスのできごと等で必要なことは、職員間で報告・連絡・相談をし情報を共有しています。	4.6
	3	心豊かな集団の育成を目指したクラス経営が進められ、各クラスの運営が円滑に行われています。	4.2
	4	避難訓練の実施や事故対応など緊急時に対応できる体制が整えられています。	3.9
	5	園内外の研修を計画的に実施し、積極的に参加しています。	3.9
	6	保育に関わる様々な知識や技能の向上に努め、悩みや疑問を解決するために研修に参加したり、専門書を読むなどし、日々の保育や業務に反映させています。	4.1

事務管理・運用	1	守秘義務を守り、子どもや保護者に関する情報を適正に取り扱っています。	4.7
	2	帳簿類は適切に記載し、整理・保管しています。	4.8
	3	施設設備、遊具等の安全点検を計画的に行っています。	4.6
	4	遊具、用具等を活用しやすいように整理・保管しています。	4.5
	5	資材の有効利用や経費の節減に努めています。	4.6

地域に開かれた保育園	1	小学校、中学校と連携し、交流する機会をもっています。	4.2
	2	地域の子育て支援として、一児保育や園庭開放を実施しています。	4.5
	3	地域のお年寄りと園児のふれあいの機会を大切にしています。	4.2
	4	子どもの心身の発達や育児不安について気軽に相談できるように、育児相談(個人懇談等)を　行い、必要に応じて療育機関、児童相談所などの専門機関との連携をとっています。	4.3
	5	園生活の子どもの様子を保護者に積極的に伝えています。	4.7